

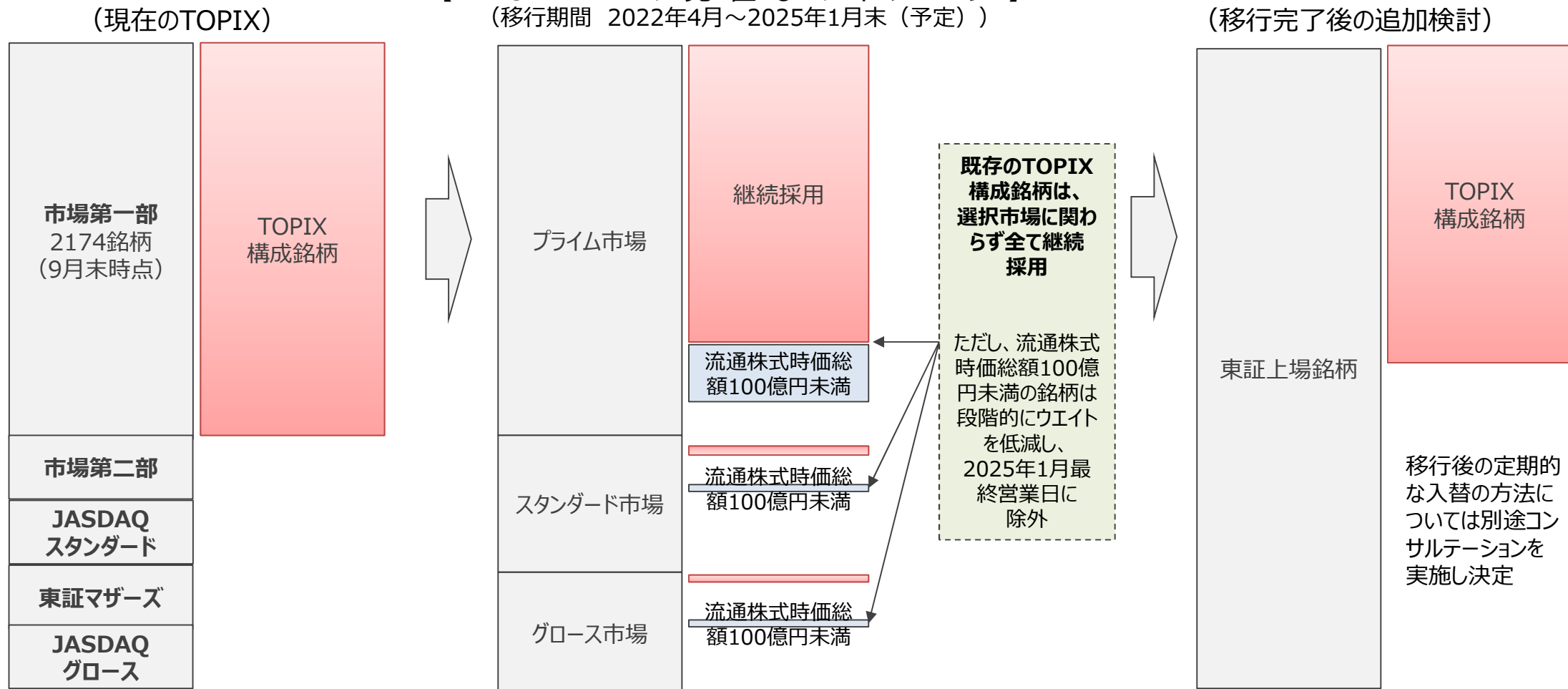
# 1. TOPIXの見直しの基本方針

参考 2



- 新市場区分への移行前営業日時点（2022年4月1日時点）のTOPIX構成銘柄は、選択する市場に関わらず継続してTOPIX構成銘柄とします。ただし、流通株式時価総額100億円未満の銘柄については、「段階的ウエイト低減銘柄」と判定し、2022年10月から段階的にウエイトを低減し、約4年後の2025年1月末にTOPIXから除外します。
- 移行に際しては、指数利用者への影響・市場影響等を考慮し、2025年1月まで段階的に実施します。
- また、段階的ウエイト低減銘柄となった場合においても、その後の流通株式時価総額の回復状況を反映させるための再評価を実施します。
- 移行期間（2022年4月～2025年1月末）における新規上場銘柄については、プライム市場に新規上場する銘柄のみをTOPIXの構成銘柄に追加します。スタンダード市場・グロース市場への新規上場銘柄のTOPIX構成銘柄への追加や選定対象数に上限を設けるなど、移行後の定期的な入替の方法については別途コンサルテーションを実施する予定です。

## 【 TOPIX の見直しのイメージ 】 （移行期間 2022年4月～2025年1月末（予定））



## 2. 移行期間中のTOPIXの算出ルール

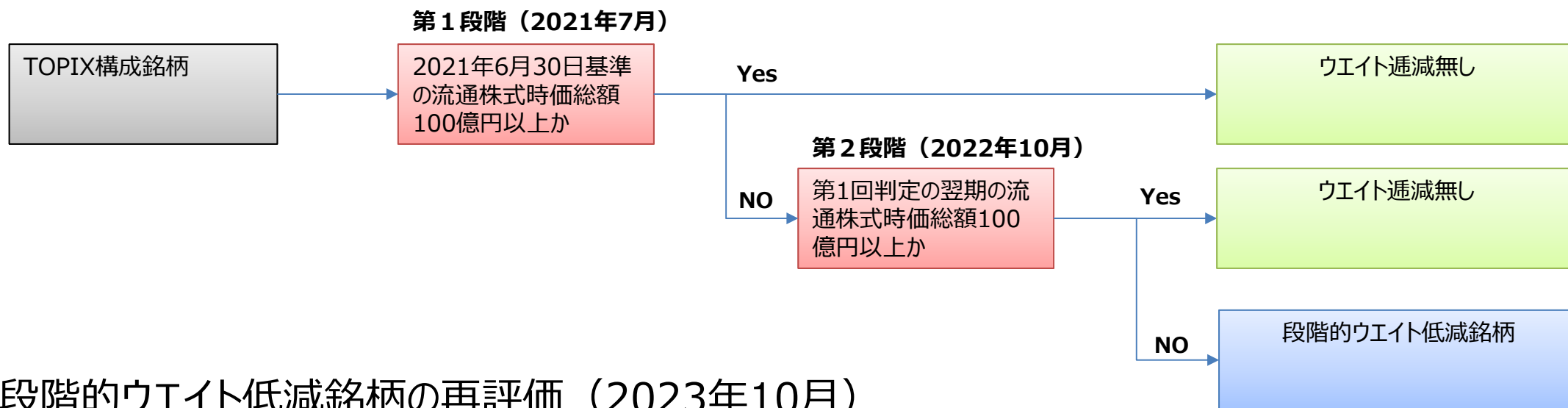
参考 2



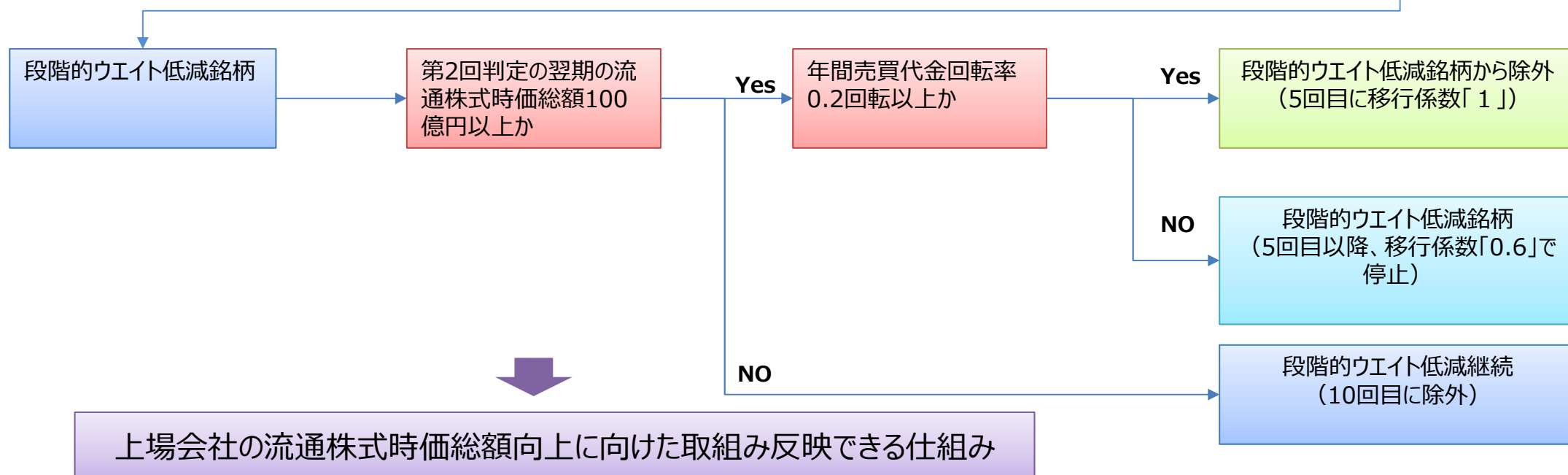
項目	概要
施行日（2022年4月4日）のTOPIX構成銘柄	施行日前営業日（2022年4月1日）時点のTOPIX構成銘柄を継続採用
段階的ウエイト低減銘柄の判定基準	<p>・<b>流通株式時価総額100億円未満の銘柄</b> 2021年6月30日を基準とする「新市場区分における上場維持基準への適合状況の通知」に用いられる流通株式時価総額及び翌期の流通株式時価総額の2段階で評価し、いずれも100億円未満の場合対象となる。</p> <p>※段階的ウエイト低減銘柄は2022年10月第5営業日に公表予定 ※なお、移行期間中も上場会社の企業価値向上や、流通株式比率の改善等を反映させるため再評価を実施。上記判定の翌期の流通株式時価総額が100億円以上となった場合は、5回目以降の移行係数の逡減を停止。加えて、直近1年間の売買代金回転率が0.2回転以上となる場合、5回目で移行係数を「1」に戻し、移行対象から除外</p>
施行日以降の追加基準	<p>・<b>東証プライム市場に新規上場・市場区分を変更する銘柄</b>（上場日の翌月最終営業日に追加） ・TOPIX構成銘柄を旧会社とするテクニカル上場</p> <p>※2022年3月1日～2022年3月31日に市場第一部に新規上場した銘柄は、2022年4月末に組み入れ。 ※2022年4月1日に市場第一部に新規上場した銘柄は、2022年5月末に組み入れ。</p>
施行日以降の除外基準	<p>・整理銘柄指定、上場廃止 ・<b>特設注意市場銘柄指定</b>（指定日の4営業日後に除外）</p>
構成銘柄のウエイト上限の導入（キャップ・ルール）	<p><b>組入ウエイトの上限（10%キャップ）を設定</b> ※毎年8月末を基準日とし、10月末にリバランスを実施する。</p>

※流通株式時価総額のデータの期間については、上場部における集計実務により変更の可能性あり。

● 段階的ウェイト低減銘柄の判定



● 段階的ウェイト低減銘柄の再評価 (2023年10月)



- 企業価値向上や流通株式比率の改善等を通じて、流通株式時価総額が100億円以上となった銘柄については以下のとおり再評価を行います
- 段階的ウェイト低減銘柄の移行係数反映後浮動株比率の推移（例：浮動株比率0.6の場合）

	2021年10月	1回目	2回目	3回目	4回目	再評価	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
実施年月	2022年10月	2023年1月	4月	7月			10月	2024年1月	4月	7月	10月	2025年1月
移行係数反映後浮動株比率の推移 (現状：0.6)	0.6×0.9 = 0.54	0.6×0.8 = 0.48	0.6×0.7 = 0.42	0.6×0.6 = 0.36		① 0.6×0.5 = 0.3	0.6×0.4 = 0.24	0.6×0.3 = 0.18	0.6×0.2 = 0.12	0.6×0.1 = 0.06	0.6×0 = 0 (除外)	
						② 0.6×0.6 = 0.36 (逡減停止)	0.6×0.6 = 0.36	0.6×0.6 = 0.36	0.6×0.6 = 0.36	0.6×0.6 = 0.36	0.6×0.6 = 0.36	0.6×0.6 = 0.36
						③ 0.6×1 = 0.6 (通常銘柄へ)	0.6×1 = 0.6	0.6×1 = 0.6	0.6×1 = 0.6	0.6×1 = 0.6	0.6×1 = 0.6	0.6×1 = 0.6

- 再評価の基準について（※再評価に用いる流通株式時価総額は、段階的ウェイト低減銘柄の2回目の判定の翌期の値を用います）

	流通株式時価総額 (※)	直近1年間の売買代金回転率	2023年10月（5回目）以降の係数逡減	備考
①	100億円未満	—	ゼロまで継続して逡減	段階的ウェイト低減リストは2022年10月第5営業日にHPで公表
②	100億円以上	0.2回転未満	0.6で停止	対象リストは2023年10月第5営業日にHPで公表
③	100億円以上	0.2回転以上	1に戻す（通常銘柄へ）	同上

### 3.新基準適用の影響度の試算結果

参考 2



#### ○ TOPIX構成銘柄のウエイトの変化

	現在のTOPIXに対する ウエイトの変化
現在 (2020年9月30日時点)	100%
移行期間 (2022年4月4日～2025年1月31日(予定))	100%→99%以上
移行完了 (2025年1月31日(予定))	99%以上

#### ○ 2020年9月30日時点における流通株式時価総額100億円未満のウエイト

現在のTOPIXに対するウエイト	1%未満
------------------	------

#### <試算の前提>

- 試算における流通株式時価総額は、現行の流通株式比率に株式分布状況を考慮して試算したものであり、新市場区分の上場制度の流通株式時価総額とは差異が生じる可能性があります。

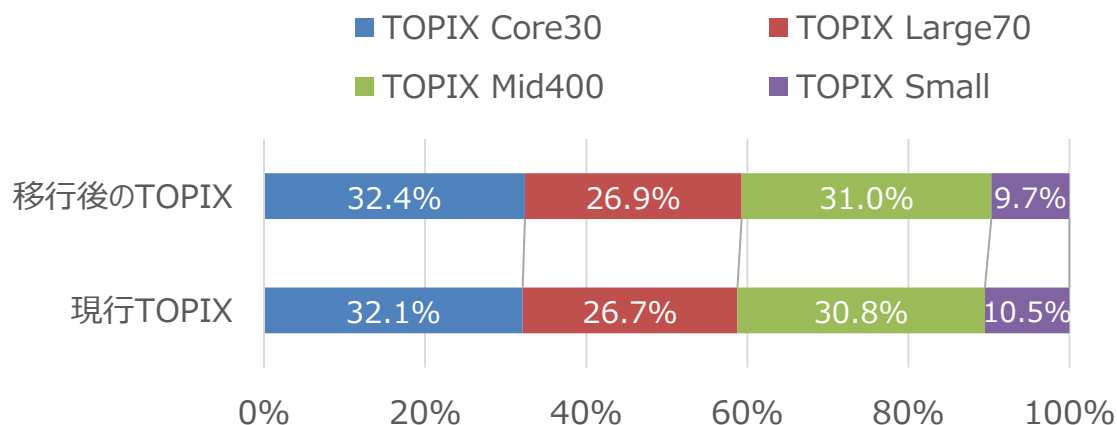
# 4 TOPIXの性質の変化

参考 2



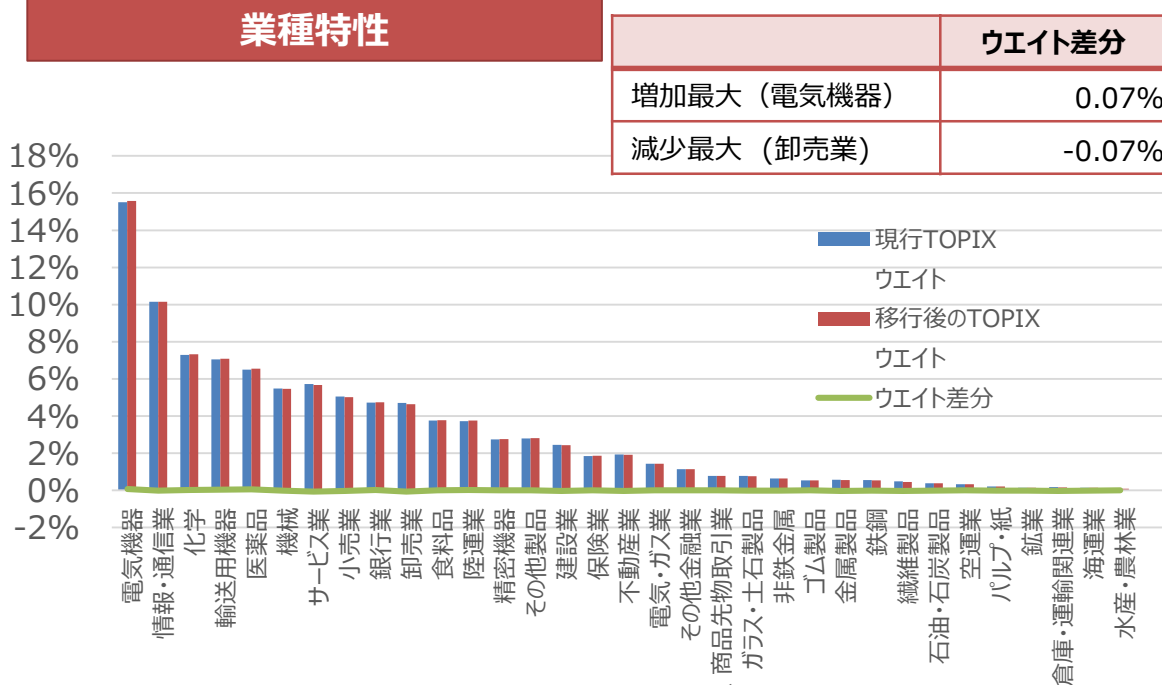
当該データは、2020年9月30日時点のTOPIX構成銘柄について、P5の前提に基づき試算したものです。

## 規模特性



	①現行 TOPIXウェイト	②移行後 TOPIXウェイト	ウェイト差分 (②-①)
TOPIX Core30 (大型)	32.1%	32.4%	0.28%
TOPIX Large70 (大型)	26.7%	26.9%	0.24%
TOPIX Mid400 (中型)	30.8%	31.0%	0.27%
TOPIX Small (小型)	10.5%	9.7%	-0.79%

## 業種特性



	ウェイト差分
増加最大 (電気機器)	0.07%
減少最大 (卸売業)	-0.07%

## ファンダメンタルズ特性

指標	①現行 TOPIX	②移行後 TOPIX	差分 (②-①)
PER (加重)	20.29	20.20	-0.090
PBR (加重)	1.20	1.21	0.009
利回り (加重)	2.30%	2.31%	0.002%

※ PER・PBRは2020年7月末までに公表された決算短信ベース、配当利回りについては、2019年度の配当金データ及び2019年3月末の株価ベース

※ PER (加重) =  $\Sigma(\text{時価総額}) \div \Sigma(\text{連結当期純利益})$

※ PBR (加重) =  $\Sigma(\text{時価総額}) \div \Sigma(\text{連結純資産})$

※ 配当利回り (加重) =  $\Sigma(\text{配当金総額}) \div \Sigma(\text{時価総額})$